

# 2021年3月期 決算概要

2021年 5月20日

 日本タングステン株式会社

1. 当期の経営成績の概況（連結）
2. セグメント別の状況
3. 財務の状況（連結）
4. キャッシュ・フローの状況（連結）
5. 期末配当
6. 2021年度の業績及び配当予想について
7. ご参考

## 経済環境

新型コロナウイルス感染症の世界的な影響 ▶ 経済活動が停滞し景気が急速に悪化  
国内経済 ▶ 一部の市場は緩やかな回復基調で推移  
新型コロナウイルス感染再拡大による国内外経済の下振れリスクが懸念され、  
先行きは不透明な状況が続く

## 当社の注力市場

自動車市場 : 需要の落ち込みから一転して急回復  
衛生用品市場・産業用機器市場 : 回復にはなお期間を要する ▶ 予断を許さない状況

## 当社グループの取り組み

新型コロナウイルス感染症対策 ▶ 社内外での3密防止、テレワークの推進及び通信インフラ拡充等  
・新商品の販売開始  
・WEB等による顧客への営業活動等 } ▶ 業績回復に向けた事業の推進

# 1. 当期の経営成績の概況(連結)

## 連結売上高

急速な市場環境の悪化による業績の落ち込みを十分にカバーするには至らず

**連結売上高: 98億9千4百万円(前年度比14.8%減)**

## 営業利益

商品の選択と集中による利益管理徹底やコスト削減活動等の経営改善施策を積極的に推進するなど、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大に伴う業績の落ち込みをカバーするため、あらゆる施策を実施

▶ 売上高の大幅な減少により前年度の利益水準を確保するには至らず

**営業利益: 2億7千5百万円(前年度比45.2%減)**

## 経常利益

不動産賃貸料の増加や雇用調整助成金の計上があったものの前年を下回った

**経常利益: 6億4千3百万円(前年度比4.2%減)**

## 親会社株主に帰属する当期純損失

### □特別利益

- ・投資有価証券売却益 84百万円
- ・基山工場増築に係る補助金収入 112百万円

### □特別損失

- ・減損損失 894百万円
  - 衛生用品機器事業 563百万円
  - 産業用機器事業 212百万円
  - 連結子会社 119百万円

**親会社株主に帰属する当期純損失: 6千2百万円(前年度は5億9千8百万円の親会社株主に帰属する当期純利益)**

## 経営成績(連結)

(単位: 百万円)

	2020年3月期	2021年3月期	対前年比 増減額	増減率
売上高	11,607	9,894	△1,712	△14.8
営業利益	502	275	△227	△45.2
経常利益	671	643	△27	△4.2
親会社株主に帰属する 当期純利益または当期 純損失(▲)	598	△62	△661	—

## 主な経営指標

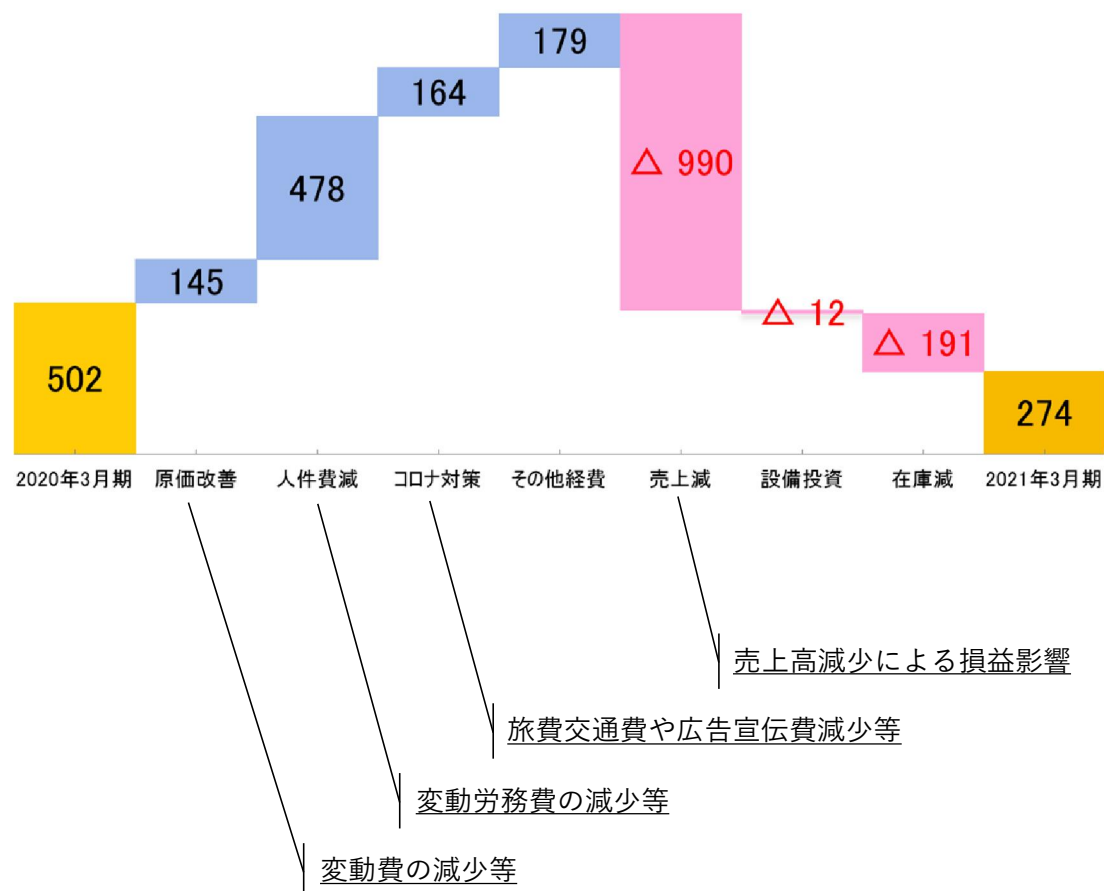
	2020年3月期	2021年3月期
売上高営業利益率(%)	4.3	2.8
自己資本当期純利益率: ROE(%)	6.0	△0.6
総資産経常利益率 : ROA(%)	4.1	4.1
1株当たり当期純利益 : EPS(円)	245.97	△26.02

[NTブラジル](NIPPON TUNGSTEN DO BRASIL SOLUÇÕES DE CORTE LTDA)

# 1. 当期の経営成績の概況(連結)

## 営業利益の増減要因と概況

(単位：百万円)



### 概況

上期は自動車産業の稼働減の影響等により、第2四半期決算では営業損失(連結)を計上するなど大きく落ち込んだ。

売上高減少による影響を経営改善施策(人件費・経費削減等)でカバーし、下期からは主に自動車関連製品が回復基調となった。しかしながら、下期回復分を上期の業績悪化に対して補いきれず、営業減益となった。

営業外収益(雇用調整助成金や不動産賃貸料増)が下支えし、前期に迫る経常利益を確保した。

特別利益(投資有価証券売却益・基山工場増築に係る補助金収入)があったものの、固定資産減損損失の発生により、親会社株主に帰属する当期純損失を計上した。

## 2. セグメント別の状況

### セグメント業績 四半期別推移

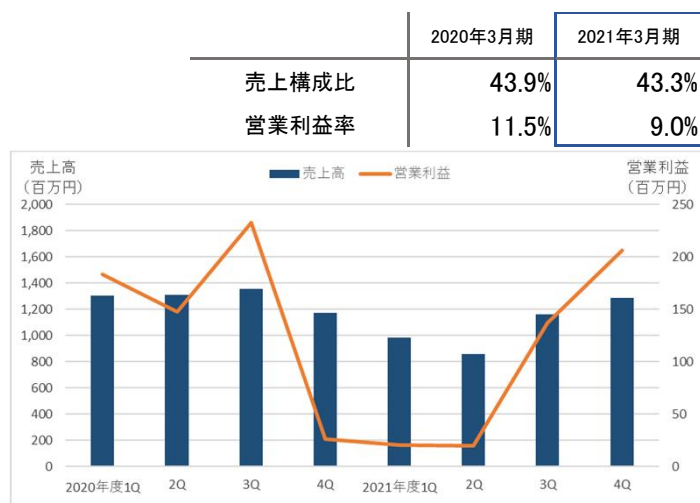
(単位:百万円)

	2020年 3月期	2021年3月期				累計	
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		
機械部品事業	売上高	6,542	1,516	1,360	1,316	1,431	5,625
	営業利益	498	153	50	76	103	383
電機部品事業	売上高	5,135	982	859	1,162	1,284	4,288
	営業利益	589	20	20	137	206	383

※ 売上高はセグメント間の取引を含んでおり、営業利益は全社費用等調整前の金額

### 電機部品事業

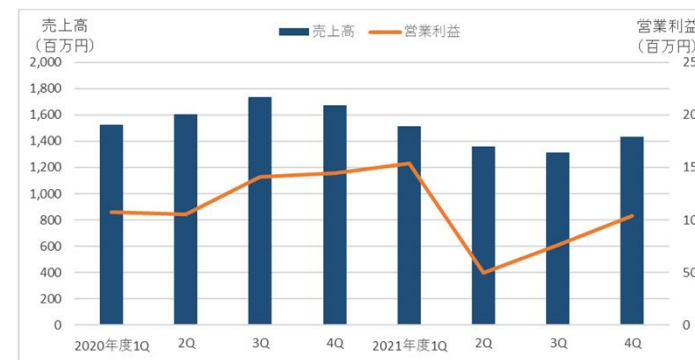
照明器具部材のタングステンワイヤー製品、医療関連部材のカテーテル用タングステンワイヤー製品が不振継続も、下期は空気清浄機関連部材のタングステンワイヤー製品が増加したほか、自動車関連のEV用接点、抵抗溶接用電極が大きく回復



### 機械部品事業

おむつなどの衛生用品製造設備であるNTダイカッター、産業機器製品が不振も、情報関連機器のハードディスクドライブ(HDD)用磁気ヘッド基板が好調に推移

	2020年3月期	2021年3月期
売上構成比	56.0%	56.7%
営業利益率	7.6%	6.8%



## 2. セグメント別の状況

### 機械部品事業

#### セグメント業績

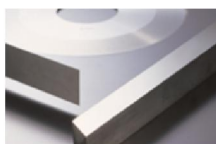
	2020年3月期	2021年3月期	(単位:百万円)	
			対前年比 増減額	増減率
売上高	6,542	5,625	△916	△14.0
営業利益	498	383	△114	△23.0

※売上高はセグメント間の取引を含んでおり、営業利益は全社費用等調整前の金額



### 衛生・医療市場

NTダイカッター ▶ 新型コロナウイルス感染症拡大下においても一定の再研磨サービスの需要はあったものの、サニタリーメーカーの新規設備投資の凍結及び延期等により需要が低調に推移し、大幅な減収



### 産業機器市場

鉄鋼向けの工具やプラント向け機械部品等 ▶ 多くが新型コロナウイルス感染症拡大による設備投資抑制の影響を受け、低調に推移



### 半導体・電子部品市場

情報関連機器のハードディスクドライブ(HDD)用磁気ヘッド基板

▶ データセンター等、大容量化が進むHDDの需要が好調であり、増収

## 2. セグメント別の状況

### 電機部品事業

#### セグメント業績

	2020年3月期	2021年3月期	(単位:百万円) 対前年比	
			増減額	増減率
売上高	5,135	4,288	△847	△16.5
営業利益	589	383	△205	△34.9

※売上高はセグメント間の取引を含んでおり、営業利益は全社費用等調整前の金額

### 自動車市場

**EV用接点** ▶ 新型コロナウイルス感染症での生産・物流停滞による大幅な需要の落ち込みがあったものの、第3四半期以降は中国市場の景気回復により急激に需要が増加し、売上が前年を上回るなど好調に推移

### 衛生・医療市場

**医療関連部材のカテーテル用タングステンワイヤー製品** ▶ 新型コロナウイルス感染症での在庫調整等の影響により、減収

### 照明・その他市場

**照明器具部材のタングステンワイヤー製品** ▶ 照明器具のLED化の伸展により、減収



### 3. 財務の状況(連結)

#### 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2020年3月期	2021年3月期	対前年比 増減額
総資産	16,140	14,994	△1,146
負債	6,154	4,983	△1,171
純資産	9,986	10,011	25

- ・減損損失の計上により、有形固定資産が減少
- ・当期は借入実行なく有利子負債が減少

#### 主な経営指標

	2020年3月期	2021年3月期
総資本回転率(回)※	0.72	0.66
自己資本比率(%)	61.8	66.7
1株当たり純資産(円)	4,104.36	4,151.88

※総資本回転率の計算に用いる総資本は期末値を用いています。

#### 総資産

増加	現金及び預金	+275
	退職給付に係る資産	+261
減少	売上債権	△189
	たな卸資産	△130
	有形固定資産	△1,314

#### 負債

減少	流動負債	△1,033
	繰延税金負債	△115

#### 純資産

増加	退職給付に係る調整累計額	+156
減少	利益剰余金	△137

## 4. キャッシュ・フローの状況(連結)

### キャッシュ・フロー計算書(連結) 前期比較

	(単位:百万円)		
	2020年3月期	2021年3月期	対前年比 増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,214	1,336	122 (収入増)
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 664	△ 513	150 (支出減)
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 47	△ 552	△ 504 (支出増)
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 30	4	35
現金及び現金同等物の期末残高	2,185	2,460	275

### 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により獲得した資金 13億3千6百万円 (前年度比1億2千2百万円の収入増)

- ▶ 主に売上債権の回収増等

### 投資活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により支出した資金 5億1千3百万円 (前年度比1億5千万円の支出減)

- ▶ 主に有形固定資産の取得による支出が減少

### 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により支出した資金 5億5千2百万円 (前年度比5億4百万円の支出増)

- ▶ 主に短期借入金の返済による支出が増加

## 5. 期末配当

### 剰余金の配当等の決定に関する方針

当社は株主の皆様への利益還元について、親会社株主に帰属する当期純利益の30%を目安に、新商品開発を推進するための設備・人財・研究などへの戦略的投資、中長期的な企業財務体質の強化等を総合的に勘案しつつ、安定的・継続的な配当に努めます。

また、1株当たりの株主価値を向上させるとともに、資本効率の向上を図るため、適宜自己株式の取得に努めます。

### 当期の配当金

	2020年3月期	2021年3月期
親会社株主に帰属する 当期純利益	百万円 598	百万円 △62
中間配当金	円 銭 40.00	円 銭 —
期末配当金	円 銭 30.00	円 銭 40.00
配当性向(連結)	% 28.5	% —

当期の期末配当金は、特別損失の計上により親会社株主に帰属する当期純損失を計上したものの、株主の皆様への安定的・継続的な配当を勘案し、**期末配当金は1株当たり40円**とする。

中間配当金は無配のため、**年間配当金は1株につき40円**となる。

また、2020年4月1日から8月31日の取得終了までの期間に27,700株を取得価額49百万円で取得した。

なお、期末配当金の支払開始日は2021年6月9日となる。

## 6. 2021年度の業績及び配当予想について

### 今後の見通し

世界経済は緩やかな回復基調ではあるものの、各国間や業種間において経済回復の差が拡大傾向にあることや、国内でもコロナウイルス感染再拡大が収まらない状況にあり、景気の先行きは不透明さが続く中で推移することが予想される。

当社グループは2031年の創立100周年に向けて、2024年までの4年間で「成長に向けた基盤強化」と「100周年に向けた成長開始」と位置づけ、外部環境変化に左右されることなく安定した収益を確保できる体質への改善と成長に必要な新商品の早期事業化を達成するために「日本タングステングループ 2024中期経営計画」(以下、「2024中期経営計画」)を策定し、利益体質強化と成長事業の拡大、新規事業創出加速により事業価値を最大化し、創立100周年の未来へつなぐ」を基本方針とし、更なる企業価値向上に向けた成長を目指す。

次期の業績予想値及び配当予想値は次のとおり。

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

連結業績予想	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,400	14.8	350	—	410	199.6	280	88.3	116.30
通 期	11,000	11.2	700	154.2	860	33.6	580	—	240.91

個別業績予想	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,100	15.1	260	—	390	177.7	280	66.6	116.30
通 期	10,400	11.1	510	311.6	730	30.1	510	—	211.84

配当予想	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半 期末	第2四半 期末	第3四半 期末	期 末	合 計			
2020年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
	—	40.00	—	30.00	70.00	170	28.5	1.7
2021年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00	96	—	1.0
2022年3月期(予想)	—	40.00	—	40.00	80.00		33.2	

## 経営成績と経営指標(連結)

### 経営成績 (連結)

(単位：百万円)

区分	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
売上高	10,124	11,102	12,651	11,607	9,894
営業利益	473	755	1,029	502	275
経常利益	575	980	1,105	671	643
親会社株主に帰属する当期純利益 又は当期純損失 (△)	469	696	831	598	△62
純資産	8,978	9,578	10,022	9,986	10,011
総資産	14,836	16,118	16,392	16,140	14,994

### 経営指標 (連結)

区分	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
売上高営業利益率 (%)	4.7	6.8	8.1	4.3	2.8
自己資本当期純利益率 (ROE) (%)	5.3	7.5	8.5	6.0	△ 0.6
自己資本比率 (%)	60.2	59.2	61.0	61.8	66.7
1株当たり純資産 (BPS) (円)	3,715.00	3,949.26	4,118.69	4,104.36	4,151.88
1株当たり当期純利益 又は当期純損失 (△) (EPS) (円)	195.02	288.51	342.80	245.97	△ 26.02
総資産経常利益率 (ROA) (%)	3.9	6.3	6.8	4.1	4.1

本資料は情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。

また、掲載されている情報は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。

従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。当社の内部要因や当社を取り巻く事業環境の変化等の外部要因が直接または間接的に当社の業績に影響を与え、本資料に記載した見通しが変わる可能性があることをご承知おきください。

投資に関する最終的な決定は、利用者ご自身の判断でなさるようお願いいたします。